

議案審議レポート

※ 議案は、本会議での質疑の後、所管の常任委員会に付託して慎重に審議しました。
主な議案と審議の経過について紹介します。

加西市議会の議員定数と 議員報酬の見直しを図る

議案第 5 号 加西市議会の議員定数と報酬
を定める条例の制定について

概要 加西市特別職報酬等審議会の答申、議員のなり手不足の解消、近隣市の状況及び行財政改革等を踏まえ、加西市議会の議員定数と議員報酬の見直しを図ることを目的として、条例を制定するもの。

質疑

問 議員定数の削減及び報酬を特別職報酬等審議会の答申以上に増額して提案した理由は。

答 近隣市が議員定数を削減しているが、本市においては人口が減少するなか定数を維持したままであり、採決の際に賛否が同数となる奇数となっています。議員のなり手不足の解消を考慮し、年収ベースで約 100 万円程度の増額となる水準に報酬を設定し、行財政改革の観点からも支出総額が増加しないよう配慮した結果、定数を 12 に削減する条例改正を提案する政治判断を行いました。

問 この一つの条例で二つの条例を改正しようとされるが、どのような理由か。

答 本来は議会自らが判断して決めるべき事項と考えていますが、近隣の状況等、いろんな意見を聞いて、私が提言するしか方策はないとの思いであえて提案しました。

※ 以上のような質疑があり、本会議最終日に修正案が提出されました。

(修正案の内容)

- ・議員定数を 14 人とする。
- ・議員報酬は次期議員の任期開始の日から適用する。

討論

修正案に賛成・原案に反対

- ・報酬を上げることは、出馬意欲のある市民に少しはハードルが下がり、立候補に有利に働く。(本会議)

修正案・原案ともに反対

- ・市民の多様な意見を議会に反映させるためには、一定の議員定数を確保する必要がある。(総務常任委員会)
- ・今回の議案は議会制民主主義の根幹に関わる問題であり、議会において議員定数等調査特別委員会を設置し、議会として取りまとめた意見を尊重すべき。(総務常任委員会)
- ・議員定数等調査特別委員会で実施された市民アンケートの結果では、なり手不足の主な要因として、仕事に魅力を感じない、地域や親族のしがらみといった点が上位を占めている。(総務常任委員会)
- ・地域性や世代など多様な市民の声を議会に反映させる上で一定の役割を果たしており、これを 3 名削減することは、その機能に影響を及ぼす可能性がある。(本会議)

議決結果

修正案：賛成 3、反対 11 の賛成少数で否決

原案：賛成 0、反対 14 で否決

特別職（市長・副市長・教育長）の 給料月額を改正

議案第 6 号 特別職に属する常勤の職員の給与
に関する条例の一部を改正する条
例の制定について

概要 加西市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、特別職の給料月額を改正するもの。

質疑

問 行財政改革を推進する中で、常勤の特別職の給料を増加させる判断をした理由は。

答 特別職報酬等審議会の答申に基づくもので、長年、減額されたままとなっています。市長の給料は市の格付けとの判断もあり、このような増額の答申をいただいたと考えています。

討論

賛成

- ・報酬等審議会の答申を受けて提案されたものであり、その内容を尊重すべきである。(本会議)

反対

- ・給料を引き上げる方向性については理解するものの、その実施時期については市民の理解を得ることが重要である。(本会議)